

令和5年度 共に学び、生きる共同社会コンファレンス ひなたのつどい

取組推進校 実践報告

地域で充実した生活を送るために ～夢・希望のこすもすを咲かせよう～



宮崎県立小林こすもす支援学校

1

本校について

2

取組の概要

3

取組の実際

4

成果

5

課題

写真：生駒高原（小林市）

1

本校について



写真：生駒高原（小林市）



小林こすもす支援学校

○学校の沿革

平成17年 都城養護学校の分校として西諸県地域に都城養護学校小林校開校

- ・東方小学校敷地内に小学部
- ・東方中学校敷地内に中学部

平成20年 都城きりしま支援学校小林校へ校名変更

平成23年 都城きりしま支援学校高等部開設

- ・県立小林高等学校敷地内

令和2年 小林こすもす支援学校として独立開校



小学部

小林市東方3216番地
(小林市立東方小学校内に併設)

中学部

小林市東方3094番地2
(小林市立東方中学校内に併設)

高等部

小林市真方124番地
(小林高等学校内に併設)



小林高

小学部



東方小学校に併設

中学部



東方中学校に併設

高等部



小林高校に併設

○教育目標

共生社会の一員として自立的に生きるために必要な力を養うとともに、児童生徒自らが願いを育み、その実現に向けて主体的に学ぼうとする、心豊かでたくましい児童生徒を育成する。 **自立する心と身体を育てる**

○校訓

「なかよく」「たくましく」「夢にはばたく」

○経営方針

小・中・高の縦の連携と併設校の横の交流をとおして、「なかよく」「たくましく」「夢にはばたく」の具現化を図るために、「互いに助け合い」「自立に向け」「家庭や地域のつながり」を大切にした学校を目指す。

2

取組の概要



写真：生駒高原（小林市）

○学校の経営方針

- ・ **併設校との交流**

- ・ 「互いに助け合い」「自立に向け」「**家庭や地域のつながり**」を大切にした学校を目指す

○みやざきの共生社会を目指す生涯学習推進事業の目的

- ・ 特別支援学校における障がいのある児童生徒を対象とした**生涯学習のイメージ作り**



○具体的な取組

- ① 余暇についての授業実践

- ② 地域との交流（併設する小林高等学校、地域で活動されている民間団体）

○取組により期待される効果

余暇の過ごし方の大切さについて確認し、様々な過ごし方があることを学習する。

普段の生活における余暇（昼休み、帰宅後、休日）の過ごし方、卒業後の余暇の過ごし方について考え、自分の趣味や得意なことを改めて見直したり、興味のある活動に挑戦し、余暇の選択肢を広げたり、生き生きとした生活を送る基盤を作ることができるようにする。



3

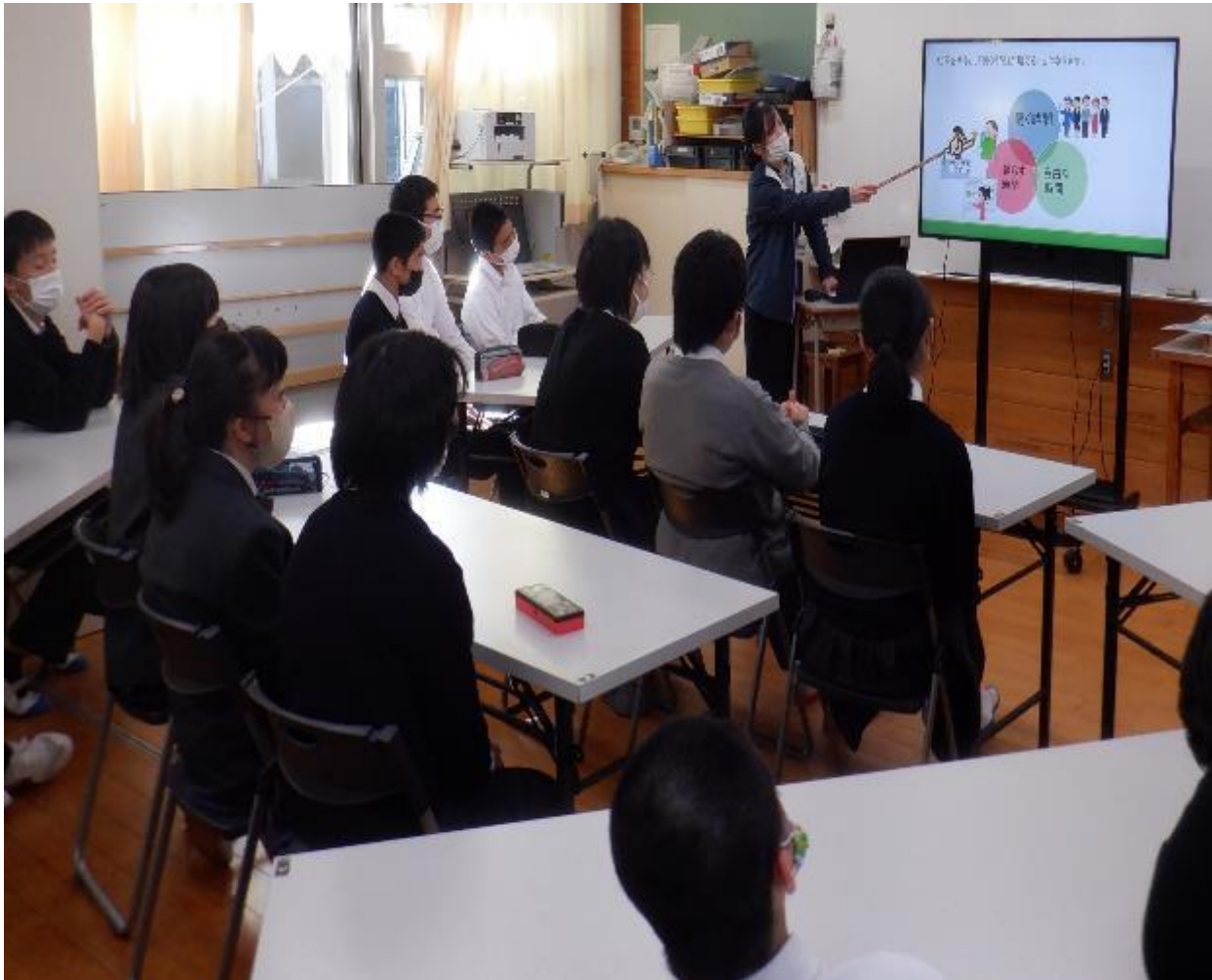
取組の実際



写真：生駒高原（小林市）

①余暇についての授業実践

- ・11月24日（金）6校時 事前学習
（余暇について、現在の余暇の過ごし方、自分の好きなこと等の確認）



余暇の過ごし方を記入

①余暇についての授業実践

・11月28日（火）5・6校時 体験学習（サンライズスポーツクラブの活動体験）



サンライズスポーツクラブ

- ・小林市細野で現在17名で活動
- ・県内のスポーツクラブでご活躍されている



①余暇についての授業実践

・11月28日（火）5・6校時 体験学習（サンライズスポーツクラブの活動体験）



ボッチャの体験

①余暇についての授業実践

・11月28日（火）5・6校時 体験学習（サンライズスポーツクラブの活動体験）

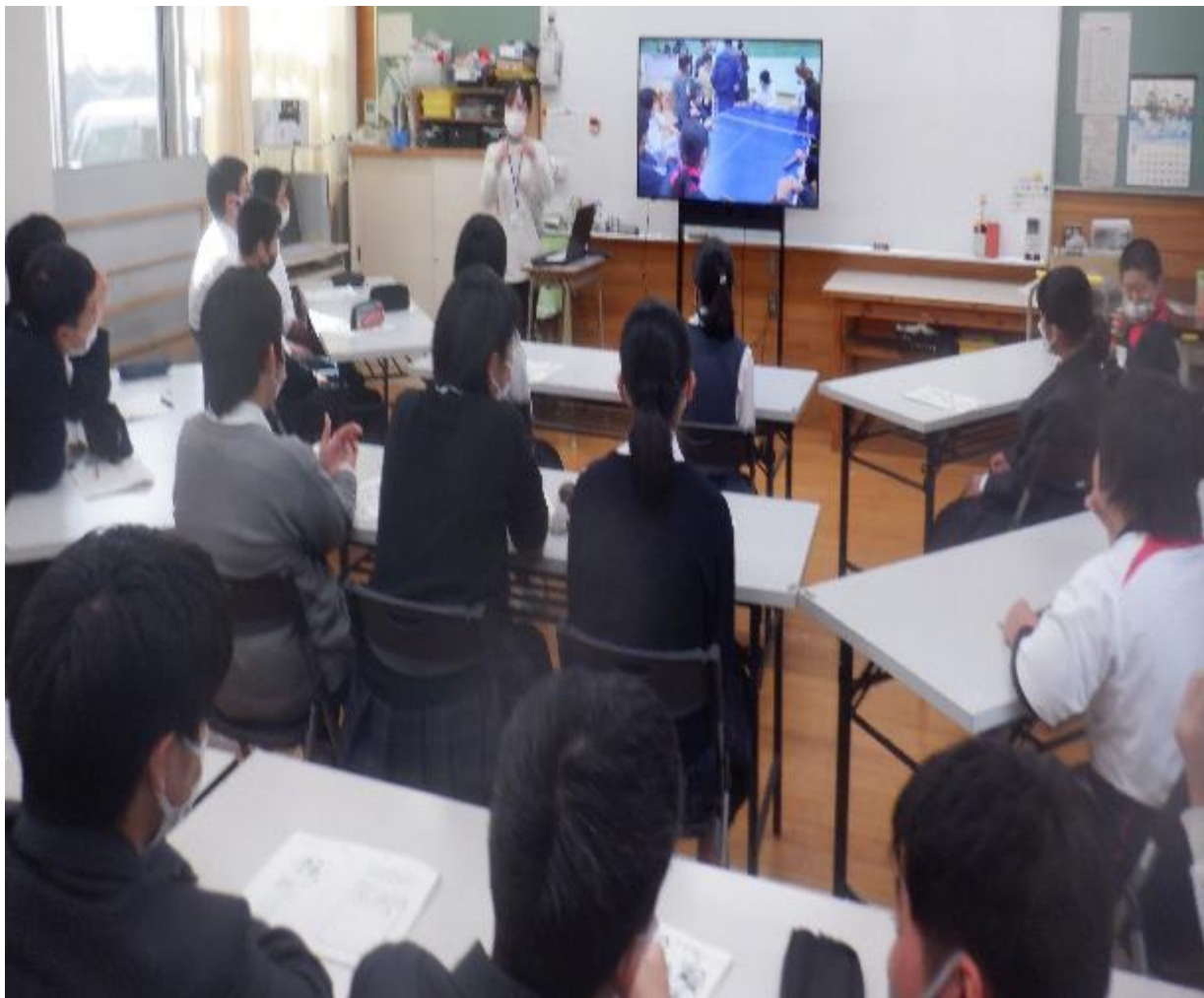


卓球バレーの体験



①余暇についての授業実践

- ・12月6日（水）5校時 事後学習
（体験学習の振り返り、将来の夢、地域の生涯学習等の確認）



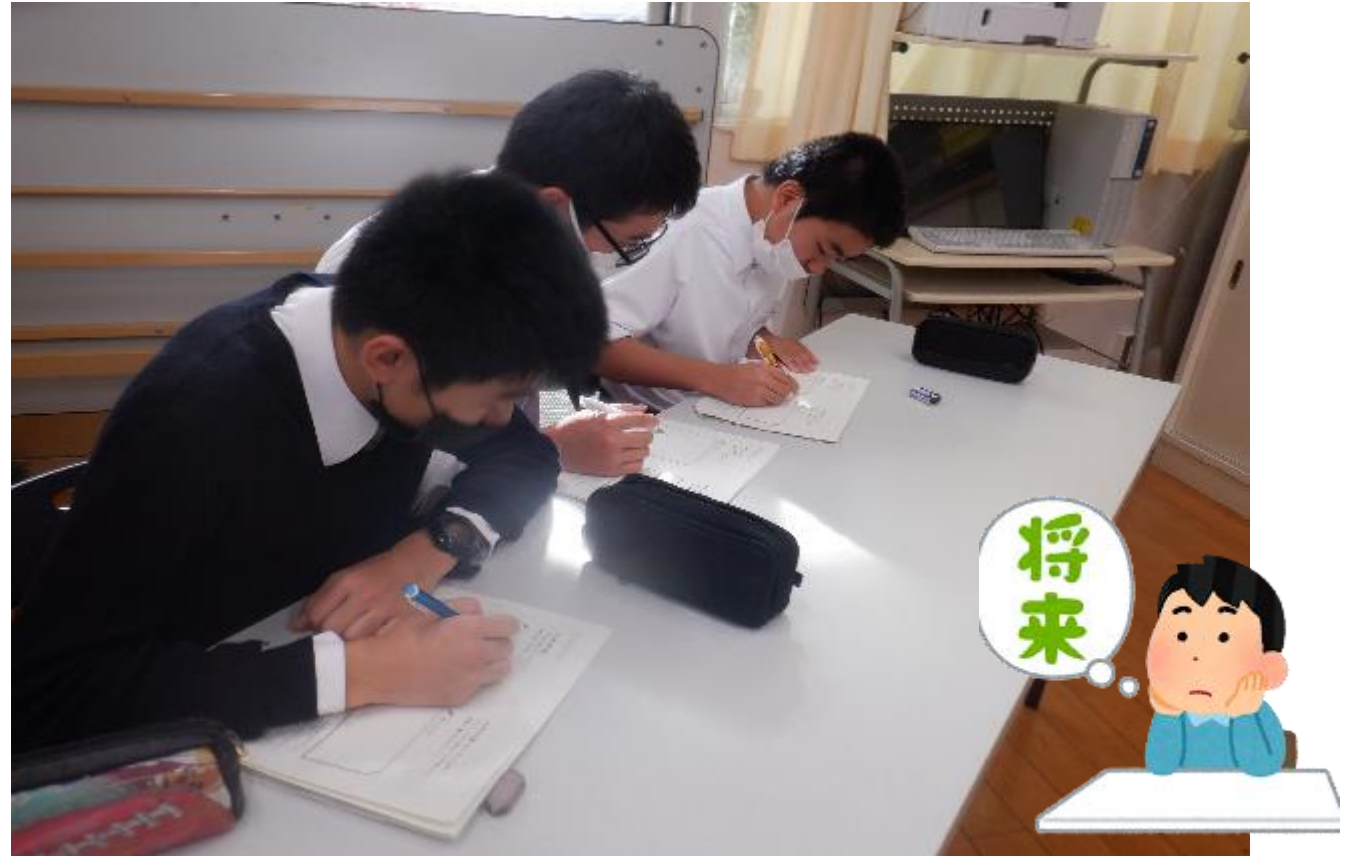
卓球バレーでは、いろいろな人が楽しめるようボールの中に、さすが
入っていたり、チームで協力あって楽しむスポーツが、あるとは、今まで
しりませんでした。

とても楽しい余暇の学習となりました。

体験活動の感想

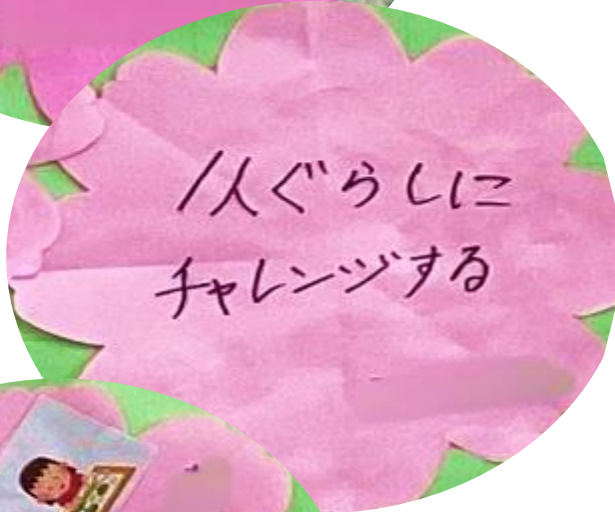
①余暇についての授業実践

- ・12月6日（水）5校時 事後学習
（体験学習の振り返り、将来の夢、地域の生涯学習等の確認）



将来の夢や希望は何だろう？

夢・希望のこすもす 花を咲かせよう



将来の夢や希望のこすもす

②地域との交流（併設する小林高等学校との交流）



本校と小林高等学校の生徒会の話し合い（内容や運営について）

②地域との交流（併設する小林高等学校との交流）



木工班による作業内容説明・道具クイズ・木材の早切り対決

②地域との交流（併設する小林高等学校との交流）



手工班による作業内容説明・コーヒー試飲のふるまい

②地域との交流（併設する小林高等学校との交流）



環境・メンテナンス班による自在ぼうきの使い方、窓掃除の実演と体験

②地域との交流（併設する小林高等学校との交流）



フォトブースの利用



キッチンカーで買い物



茶道部の茶話会

②地域との交流（併設する小林高等学校との交流）



本校と小林高等学校の生徒会の活動（ふりかえりのポスター作成）

②地域との交流（昨年度の授業の様子）



霧島おむすび自然学校
代表 壹岐さん

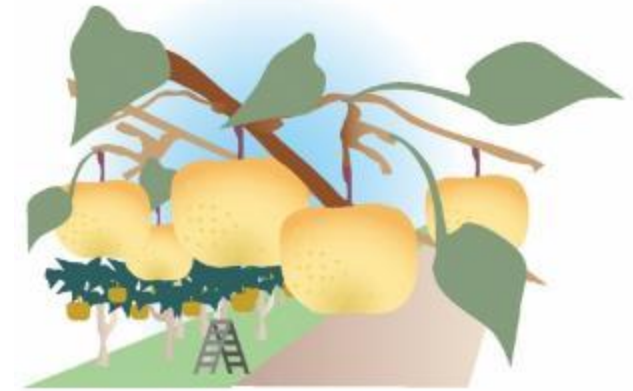
②地域との交流（地域で活動する民間団体との交流）

- ・高等部 3 年生を対象に、霧島おむすび自然学校の活動を案内（9～12月）
- ・希望する生徒は保護者と一緒に活動に参加



小林高等学校
生徒

10月 梨狩り



②地域との交流（地域で活動する民間団体との交流）



11月 登山

4

成果



写真：生駒高原（小林市）

①授業実践について

- 生活を充実させるために、余暇の過ごし方が大切であることや余暇のポイントを全体で確認することができた。
- サンライズスポーツクラブとの体験活動を通して、障がいの有無や程度に関わらず、だれもが活動できるスポーツの楽しさを体験できた。学校外でもスポーツができるところがあることを知ることができた。

②併設校、地域団体との交流について

- 生徒会同士の話し合い、文化祭への参加により同世代の交流の機会をもつことができた。
- 高等部3年生に地域団体の活動を案内し、興味のある活動に参加し、余暇の選択肢を広げる経験ができた。

5

課題



写真：生駒高原（小林市）

①授業実践について

- 余暇の過ごし方の実践まで深めることができなかった。余暇の過ごし方を充実させるために、継続して体験学習に取り組むことが必要。

例) 生徒が様々な余暇を楽しむ経験や、様々な余暇を自分の意思で選択すること、自分の好みや気持ちを表現する活動に継続して取り組むこと

- 結果としてどのように生徒の余暇の生活を変化させたのか、年間を通して継続して指導に取り組み、検証することが必要。

②併設校、地域団体との関わりについて

- 小林高校との交流内容の充実
- 地域の団体の活動や生涯学習の講座へ参加するためには、申し込み、交通手段、参加費や準備物の用意なども必要であり、家庭の理解や協力も求められる。

自分の住む地域で
共に暮らす家族や仲間を大切にしながら
心が満たされる人生を

うれしい

楽しい

しあわせ



御清聴ありがとうございました